文部科学省　ウクライナ支援パッケージ

○文部科学省ならではの貢献として、以下の**支援パッケージを実施する**。

○なお、人的交流、科学技術、教育の分野での支援策については、教育及び科学技術分野での協力覚書に基づき７月２９日に開催される**第１回日ウクライナ教育・科学技術協力合同委員会**において、先方に伝達し、その実施につき協力を求める。

人的交流

◆ウクライナの高校生・大学生・研究者を日本に招へい

・国費留学生（日本語・日本文化研修留学（１年間））として、毎年20人のウクライナ人大学生を５年間（計100人）にわたって招へい

・さくらサイエンス事業にて、ウクライナ人高校生10名を10日間程度、日本に招へいし、日本の科学に触れる機会を提供

・JSPS外国人特別研究員事業ウクライナ人研究者５名を最大２年間（最大１０名）受入れ

科学技術

◆日ウクライナ間での共同研究や研究者交流を推進

・二国間連携として、JSTによる国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-Rapid）での共同研究を支援

・多国間連携として、JSTの共同研究事業での共同研究を支援

・JSTにて研究交流ワークショップ開催し、１０名程度のウクライナ研究者を招へい

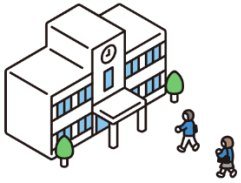
教育

◆日本の絵本を寄贈し出版を支援

・日本を代表する絵本作家の絵本数万冊をウクライナ語で翻訳・出版

◆ユニセフを通じた支援に協力

・ユニセフを通じた教育用品の供与、学習施設の修復支援（「学校募金」の呼びかけ等）



文化

◆ウクライナの文化遺産保護や来日公演開催を支援

・文化遺産保護に向けたウクライナの専門家への研修及び技術的助言の提供

・オデーサ歌劇場オーケストラの来日公演の実現支援

スポーツ

◆ウクライナ選手団の日本での合宿・トレーニングの実施を支援

・国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業にて、ウクライナのアスリート選手団を招へいし、日本国内で行う合宿やトレーニング等を支援